

平成29年1月熊野市教育委員会会議録

1. 日 時 平成29年1月26日(木) 午後4時00分から
2. 場 所 熊野市役所 4階 第4会議室
3. 出席者 倉本教育長 大久保委員、糸川委員、北野委員、
4. 欠席委員 高見委員
5. 事務局説明員
林総務課長、楠学校教育課長、杉本社会教育課長
小瀬総務課庶務係長
6. 教育長報告
(1) 一般経過報告
(2) 事件・事故・問題行動等
(3) 今後の予定
7. 議 事
(議案第1号) 平成28年度熊野市教育委員会点検・評価報告書(平成27年度事業)(案)について
8. その他 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

□開会

(教育長) 開会の宣言

□教育長報告

(教育長・事務局) 平成28年12月22日から平成29年2月28日までの一般経過報告、事件・事故・問題行動等、今後の予定、その他について報告。何かご質問等はありませんでしょうか。

(委 員) 認定こども園の件ですが、31年度開園した段階で子どもの見通しは何人ぐらいなのでしょう。

(事務局) 福祉事務所の方から、30人程度と聞いております。

(委 員) 新聞等に色々と問題点が掲載されておりましたが、御浜町のように独立した保育所を運営する場合は、問題も少ないと思いますが、木本小学校の場合は、併設ですから、問題が出てくるような気がして大変だと思います。

(事務局) 説明会でも保護者の方から、騒音の心配の声がありました。幼児達

が同じ敷地内で遊びますので、それが小学校に及ぼす影響とか、園庭をどうするのか。園庭については、独立はしておりませんので、あの枠の中で共存するということになるのかなと思います。デメリット等、色々と課題もあるかと思うのですが、一つの校舎で認定こども園と小学校が出来るということは、極端な話、1歳から12歳まで一つの建物で過ごすこととなります。今は、幼稚園、保育所、小学校の連携と良く言いますが、一体となることによって認定こども園と小学校の連携が出来るのではないかと思います。これも一つのメリットではないかと思います。木本の子ども達をどう育てるかということに一貫した保育と教育を小学校と連携しながら出来るということは、すごく大きなメリットではないかと考えております。

(委員) 一体となった時に、一緒に保育所に通いながら、最後の一年間は、幼稚園に入って小学校に上がる家庭と、ずっと保育所のままで、小学校に上がるという家庭と分かれるわけですね。

(事務局) 基本的には保育所です。幼稚園の機能も備えている認定こども園に入るということです。その中で、今、行っているALTの派遣などの木本幼稚園の良さを含めて、この保育所型の認定こども園を行うということです。

(委員) では、最後の小学校に入る前の1年間を幼稚園と保育所と分けるのではなく一括でということですか。

(事務局) はい。認定こども園でということですが、ただ、当然ですが、年齢で教室は違います。

(委員) 以前、視察に行った東員町は、保育所も教育委員会が管轄しているということでした。教育課程というのが、保育所の時から既に小学校を見通して、色々な勉強をしていきたいと思いますということであれば良いと思いますが、熊野市の場合、福祉事務所が担当ということでしたら、全く別ですね。保育所的ということでしたら、随分、異なって来ると思います。その中で小学校と一緒にというのは難しい面もあるのではないかと思います。学校と保育所との間で、きちんと話を詰めていただく必要があると思います。

(事務局) どうしても施設が離れていますと、小学校の入学時直前に保育園の子どもたちの様子を見に行かせていただくことが多いのですが、これが一つの建物の中でということになりますと、もっと連携が進むのではないかと思います。

(教育長) その他にございませんか。

(委員) 今度、アレルギーをお持ちのお子さんが入ってこられるということで、エピペン、各学校に置いてあるのでしょうか。

(事務局) 学校には置いていないそうです。練習用には置いてあるようですが。

(委員) お子さんが、自分で持ってきているということですか。

(事務局) はい。

(委員) 実際には、先生に打ってもらわなければならないと思いますので、また、練習をしていただかなくてはなりませんね。太腿部に打ってもらうのですが、初めての方は怖いようです。

(委員) 自分で打つのではないのですね。

(委員) 子ども自身は、痙攣をおこして打つことはできませんからね。

(事務局) その辺の事も含めて、今から、話を進めていかなければならないと思います。

(委員) 大変ですね。よろしく願いいたします。

(教育長) 他にございませんか。

(委員) 現在、学校を休職中の先生方の復帰の予定はどのような状況ですか。

(事務局) ここという、復帰の予定は、まだ、たっておりません。

(委員) 来年度も休職ということですか。

(事務局) はい。そうです。

(教育長) 他にございませんか。

(委員) 無し。

(教育長) それでは、事項書3・議案の方へ移りたいと思います。

(教育長) 議案第1号熊野市高等学校等通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示(案)について事務局より提案をお願いします。

(事務局) 議案第1号熊野市高等学校等通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示(案)について提案。

(教育長) 議案第1号につきまして、ご質問等はございませんか。

(委員) 例えば、4月に入学して6カ月定期を購入した場合の申請をする場合、年度最後の3月25日までに申請すれば良いということですか。

(事務局) はい。そうです。まとめて1年分申請していただいてもかまいません。

(委員) 4月に定期券を購入して、4月に申請しても良いのですよね。

(事務局) はい。大丈夫です。

(教育長) 他にございませんでしょうか。

(委員) 無し。

(教育長) 議案第1号熊野市高等学校等通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示(案)についてご承認いただけますでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) ありがとうございます。議案第1号についてご承認いただきました。

(教育長) 続きまして、議案第2号平成28年度熊野市教育委員会点検・評価

報告書（平成27年度事業）（案）について事務局より提案をお願いします。

（事務局）議案第2号平成28年度熊野市教育委員会点検・評価報告書（平成27年度事業）（案）について提案。

（教育長）事務局より提案していただきました。今一度、内容をご確認いただき、ご質問等ございましたら、よろしくをお願いします。

（委員）外国語指導助手の配置についてお聞きしたいのですが、例えば数が増えてきた場合、外国人と言っても色々な方がおられますよね。質の確保はどのような形で行われているのでしょうか。

（事務局）今、3名の外国語指導助手を配置しております。彼女たちは、すごく積極的に活動してくれており、グローバル体験事業を含めて各学校から良い評価を得ております。JETからの派遣ということで、おっしゃる通り、色々な方がおられます。ただ、なかなかこちらから選ぶということは難しい状況です。

（委員）そうですね。こちらから選ぶことは難しいですね。分かりました。ありがとうございます。

（教育長）例えば、日本語が話せるとか、男性、女性であるとか、そういった希望は出せます。JETプログラムで、ある程度の審査の基準をクリアした人達が来られるということです。

（事務局）3名ともだいたい日本語は、大丈夫です。日本語が話せないとなると非常に困ります。

（委員）希望を出せるということでしたが、何歳位までなどの年齢の希望も出せるのでしょうか。

（事務局）実際、年齢までは、難しいと思います。

（委員）現在、3名ということですが、これから増やしていく予定なのでしょうか。

（事務局）今のところ、現状維持です。

（委員）これから小学校の英語の教科化というのが本格的になってきた場合に3名で対応していけそうなのでしょうか。やはり、増やしていかなければならないと考えておられるのでしょうか。

（事務局）その時のニーズによってということになると思います。今のところは、3名でということです。今からは、小学校教諭の英語力というのが求められて来ると思います。

（委員）この方たちは、何年生を対象に指導しておられるのでしょうか。

（事務局）小学校のニーズに応じて行っています。

（委員）例えば、学校が6年生と希望すれば6年生を指導し、3年生と希望すれば3年生を指導するということですか。

- (事務局) はい。そうです。
- (委員) 小学校の6年生までには、ここまでの英語力をという形で指導する予定は無いのですね。
- (事務局) 基本的に授業のアシスタントということで行っております。
- (委員) 小学校の英語の教科化は、まだですよ。これからですか。
- (事務局) はい。
- (教育長) 現在は英語活動ということで、ネイティブスピーカーであるALTの英語を聞いたり、簡単な会話をしたり、外国語の文化を教えるもったりしています。
- (委員) 学校の先生が、自分が勤めている学校内で受け持つ学年を希望することは出来るのでしょうか。
- (事務局) 希望を言うことは出来ると思います。ただ、学校の実情がありますので、それが叶うとは限りません。
- (委員) 年によって、職員構成がどうかという状況で、それぞれの学校で工夫されるのでしょうか。
- (事務局) 校内における企画、運営の中で決めることになると思います。
- (教育長) その他にございませんでしょうか。
- (委員) 学力向上推進研修というのは、どのようなことをするのでしょうか。
- (事務局) 学力学習状況調査の結果を踏まえて、熊野市の課題というのが出て来ますので、その部分をこの推進研修事業で明らかにして、どういう風に課題を解決していこうかという研修会を三重大学の森脇教授をアドバイザーとして招いて行っております。2校が学力向上推進研修の指定校として27年度は、木本小と入鹿小でした。2年間で進めていく事業となっており、1年目は、色々な学校の課題を明らかにして、そのテーマに沿って、アドバイザーにも来ていただき授業研究をし、2年目に発表をお願いしております。今年度に木本小と入鹿小については、公開授業の発表を行っております。そちらに熊野市の職員も参加し、その発表で得たスキルを持ち帰って学校へ広めています。今後、全部の学校が該当となるよう行ってまいります。
- (教育長) この内容は、27年度分になりますので、その指定校の発表が28年度になりますので、27年度には2校共、発表が無かったということです。
- (教育長) 他にございませんか。
- (委員) 無し。
- (教育長) それでは、議案第2号平成28年度熊野市教育委員会点検・評価報告書(平成27年度事業)(案)についてご承認いただけますでしょ

うか。

(委員) はい。

(教育長) ありがとうございます。議案第2号については承認いただきました。

(教育長) 続きまして、事項書4・その他(1)平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について事務局より説明をお願いします。

(事務局) その他(1)平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について説明。

(教育長) シャトルランというのは、持久力を見る種目になります。一定の区間を何回行き来出来るかというものです。事務局から申しましたように、この場でご確認いただいた後、これを保護者、地方紙に情報提供ということになります。学力学習状況調査の結果と同じような扱いにさせていただきます。市のホームページにも載せさせていただきます。その他(1)についてご質問等はございませんでしょうか。

(委員) 無し。

(教育長) その他(2)教育委員会今後の予定について事務局より説明をお願いします。

(事務局) その他(2)教育委員会今後の予定について説明。

(教育長) 何かご質問等ございませんでしょうか。

(教育長) 卒業式の取材について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 卒業式の取材について説明。

(教育長) 2月、3月は、教育委員会議、総合教育会議等で、出向いただく回数が増えますがよろしくをお願いします。小中学校の卒業式につきましては、教育委員の方々にも祝辞を持って行っていただいておりますので、どうかよろしくをお願いします。

(教育長) この部分で何かございませんでしょうか。

(委員) 卒業式ですが、仕事の都合で、出席できない場合もあると思います。

(教育長) 教育委員の方々、教育委員会の事務局職員で調整可能です。

(事務局) 小学校の卒業式には一人でも多くの地域の方、保護者の方へ出席していただけるようにと、できれば土曜授業にということで各学校にお願いしていたのですが、実は、保育所の卒園式が18日の土曜日ということで、小学校の卒業式と保育所の卒園式が重なってしまった保護者がいるということで、そのような理由で、3校が17日の金曜日に卒業式を実施することになりました。

(委員) 保育所の卒園式に重なるから、17日に卒業式を実施する学校があるわけですね。

(事務局) はい。

(委員) 市内の全部の保育所で、18日に卒園式が行われるのですか。

(事務局) 基本的にはそのようです。

(委員) 次の週では無いのですね。

(事務局) 来年度に向けての課題になると思います。

(教育長) 教育委員会としましては、3月18日の土曜日に卒業式を実施すれば、地域の方や保護者の方が出席しやすいだろうということで、年度初めに各学校へこの話をしたのですが、保育所の卒園式と重なってしまいこのような形になりました。

(委員) だいたい保育所も毎年この時期に卒園式を行っているのでしょうか。

(事務局) そのようです。

(教育長) よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) それでは、全体を通じて何かご質問、ご意見、ご提言等ございませんでしょうか。

(委員) 今後の定例会等のスケジュールですが、ほとんどが火曜日開催となっておりますが、今までは、基本的に木曜日が多かったと思います。今後は、火曜日に変更されるのでしょうか。

(事務局) 今回、たまたま全体のスケジュールと調整したため、火曜日が多くなってしまいましたが、今後、基本的には木曜日に開催させていただくことになります。

(教育長) 年度末は、人事案件等がありまして木曜日に設定できない場合がありますがご理解いただきたいと思います。

(教育長) よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) それでは、1月教育委員会会議を終了させていただきます。